



## 小野町の歴史



花の色は 移りにけりな  
いたづらに 我が身世にふる  
ながめせしまに



# 小町のロマンに 小野の歴史を見る

### 小町伝説の里

たとえば仲町地区にある矢大神社の祭神は小野篁ですし、駅を見下ろす小高い丘の上あたりが篁の館跡であったと伝えられています。小町の母、愛子にちなむ神社や鬼石、小さな五輪塔も残っています。また、「たかむら踊り」は夏の風物詩として親しまれており、篁に連

### 小町のロマンに 小野町のルーツがあった。

小野町は古くから「小野小町生誕の地」と伝えられています。町に残る伝説をひもといてみると「平安朝の初め、七里ヶ沢といわれていたこの一帯に、公家の血をひく小野篁が救民撫育のためにやってきました。名代の教養人でもある篁は、この地を「小野六郷」と称して治め、産業や文化の礎を築きました」とあります。小野篁は、篁の花園に仕えるひとりの美しい娘（愛子）と結婚し、やがて玉のように愛らしい姫（比子姫）が誕生します。この姫こそ後の小野小町であるとするのが小野町の伝説です。もちろん確かな記録は一つ残っておりませんが、町には小野篁と小町ゆかりの史跡が数多く残っています。

